**様式　8-4　「有機食品の**　輸入業者　認証審査申請書**」**

**日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会理事長殿**

下記について、認証の検査・調査を申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | **申請書記入日** | | |  | | |
| **●認証事業者に関する届出** | | | **申請書記入者** | | |  | | |
| **認証を受ける者の名称** | |  | | | | | | |
| **所在地** | | 〒 | | | | | | |
| **代表者名** | |  | | **正会員/準会員の別** | | | | |
|  | |  | | ☐正会員 | | | | |
|  | |  | | ☐準会員　→ | 正会員名 | |  | |
| **申請窓口担当者氏名** | |  | | **窓口担当者電話** | |  | | |
| **窓口担当者FAX** | |  | | **窓口担当者e-mail** | |  | | |
| **対象となる農林物資（該当する箇所に✓を入れてください）** | | | | | | | | |
| JAS | 有機農産物  有機加工食品  有機畜産物 | | | | | | | |
| **新規／年次調査／変更追加のみの申請** | | | | | | | | |
| 新規申請　　➡　 有機食品認証契約書の提出確認（提出済みの場合チェック） | | | | | | | | |
| 年次（継続）調査  ➡申請内容に変更追加がないか再確認して下記の該当する方にチェックを入れてください。検査時に追加変更の申請は受付できません。事前申請が必要です。  今回の申請で変更・追加がない。  今回の申請で変更・追加がある。変更追加内容を下記、変更追加の欄に記入して下さい。  ※認証変更追加事項の例：施設や倉庫、機械・器具、担当者、規程、品目、原材料(非有機食品、食品添加物(加工助剤含む)、防虫防鼠のための資材(その資材の説明資料含む)、表示など)  　　　　➡　リモート調査を希望する。  　　　　　※追加圃場、追加施設等は対象外です。  　　　　　※JONAによる事業者リスク評価の結果リスクが低いと判断された場合限ります。また3年又は3回連続のリモート調査は不可とします。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/remote_oshirase/> ）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。 | | | | | | | | |
| 変更・追加のみ申請　※変更追加の内容を下欄に記載。    ➡　リモート調査を希望する。  　　　　　※追加圃場、追加施設等は対象外です。  　　　　　※JONAによる事業者リスク評価の結果リスクが低いと判断された場合限ります。また3年又は3回連続のリモート調査は不可とします。  　　　　　※詳細はJONAHP（<https://www.jona-japan.org/remote_oshirase/> ）を確認するか、事務局にお問合せ下さい。 | | | | | | | | |
| **変更・追加の内容**  ※具体的な内容および既に確認済みの行程と同じ行程であれば確認済み行程の内容も記入して下さい。  ※変更追加にともなう変更文書（申告書、規程やマニュアル、図面など）を一緒に提出して下さい。修正箇所を文字の色を変える等、**特定**しやすいようにして頂くと審査をスムーズに進めることができますので、ご協力ください。 | | | | | | | | **作業開始**  **予定時期** |
| ① | | | | | | | |  |
| ② | | | | | | | |  |
| ③ | | | | | | | |  |
|  | | | | | | | |  |

|  |
| --- |
| **●事務局使用欄** |
| **受付** | 受付日／担当者  申請料金確認状況 |
| **受理** | 受理日／担当者 |

有機農産物・有機加工食品・有機畜産物

輸入業者　申告書

この申告書の該当する項目に漏れなく記入してください。記入欄が足りない場合は、行を増やしてご対応ください。貴社に該当しない項目は削除せず、そのままにしておいてください。

**1．申請品目**

**(1-1) 有機JAS格付表示対象品目**(有機JASマークを添付するすべての品目・種類を下記一覧記入)

\*下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙で提出して下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請品目  \*一括表示に記載している品名・名称 | 商品名 | 種類の別　＊注  （有機農産物／有機畜産物／有機農産物加工食品／有機畜産物加工食品／有機農畜産物加工食品） |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  | アイテムを選択してください。 |

※畜産物は牛・馬・めん羊・山羊・豚・鶏・うずら・だちょう・あひる・かも（かもはあひるとの交雑種を含む）に限ります。

**(1-2) 申請対象外品目**(有機JASマークを貼付しない輸入品目を記入→取扱いがある一般輸入食品)：

|  |
| --- |
|  |

**2．年間計画**

**輸入品目ごとの年間輸入計画を、以下の表に記載して下さい。単位はKgまたはLで記入してください。**

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

※**(1-1)に記載したものは全て記入して下さい。生産予定無しの場合は予定無しと記入して下さい。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目 | 有機 | | 有機転換期間中 | | 有機(転換期間中含む)  と同一品目の食品 | |
| 昨年実績 | 本年計画 | 昨年実績 | 本年計画 | 昨年実績 | 本年計画 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

**3．認証対象品目の物流・商流・作業行程フローチャートに関する届出**

* 有機JAS格付表示対象品に関して、その生産地／入荷先名～申請する施設(受入～格付表示～出荷)～最終商品の販売までの、一連の物流／商流についてフローチャートを作成して下さい。
* 本フローチャートの中に、認証を申請とする審査対象事業者名（受入施設を外注する場合は、その工程・外注施設名も含む）を記載して下さい。
* 本フローチャートに、物流／商流を併記する場合には、物流には「物」、商流には「商」の文字を記入して下さい。
* 品目ごとに物流／商流が異なる場合は、それぞれフロー図を作成して下さい。
* 輸入業者において包装工程を実施する場合は、包装工程表を作成して下さい。
* 同等国の事業者に格付表示の委託の有無をする場合はこの流れも記入して下さい。
* 別紙にて作成のうえ、提出いただいても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**4．受入保管・格付表示に関する組織**

**(4-1)** **受入保管組織の形態について、該当する方に✓を入れてください。**

①申請者が単独で主体的にすべての施設やすべての工程を管理している。　

②複数の組織及施設が一体的な申請者となって管理している。　　　　　　

→各組織が同等な立場でグループとして申請する。申請者が保管などの業務の一部を委託(外注)する場合もこちら。申請書表紙の認証を受ける者の名称にグループ名、所在地にグループの所在地を記載すること。グループの構成員が、5.受入保管施設に該当しない場合は以下の表に、その構成員名(会社名等)と所在地、業務内容を記載すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **構成員名(会社名等)** | **所在地** | **業務内容** |
|  |  |  |
|  |  |  |

**(4-2) 輸入品の受入れ保管に関する計画の立案及び推進**

内部規程を策定し、推進する際の責任者名を以下に記載して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 責任者名 |  |

　　　内部規程の最終更新日

|  |  |
| --- | --- |
| 更新日 |  |

**(4-3) 工程に生じた異常等に関する処置又は指導**

受入保管から出荷までの工程中に起こった異常事態の伝達方法、指示者、処置方法について、該当するものを選択し、それぞれ必要な事項を記載して下さい。

①処置方法、対策を文書化している。

|  |  |
| --- | --- |
| 文書のタイトル |  |

②処置方法、対策を文書化していない。

具体的な異常事態の処理・指導方法を以下に記載して下さい。

|  |
| --- |
|  |

**(4-4) 受入保管・格付表示に関する管理担当者一覧**

担当者について以下の表に記載して下さい。同等性がある国の事業者に格付表示の事務を委託する場合、格付表示担当者を補佐する者も含めて記載してください。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

※1 申請者がグループ(一体的認証申請)である場合や受入保管施設が複数ある場合は、所属する構成員名(会社名等)又は施設名を記載すること。構成員名が

氏名と同じである場合は、空欄で構いません。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 担当区分　＊注  （受入保管責任者/受入保管担当者／格付表示担当者／格付表示補佐） | ※1構成員名  又は  施設名 | 所属部署又は国・会社名（格付け表示を補佐する者） | 食品の流通実務の  経験年数 | JONA又は  ＪＡＳ協会  の講習会受講日 |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他部門  （     　　）  国・会社名  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他部門  （     　　）  国・会社名  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他部門  （     　　）  国・会社名  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他部門  （     　　）  国・会社名  （     　　） | 年 |  |
|  | アイテムを選択してください。 |  | 営業部門  その他部門  （     　　）  国・会社名  （     　　） | 年 |  |

＊受入保管責任者―認証の技術的基準で定める経験年数を有し、講習会を受講した方1名。

＊受入保管担当者―認証の技術的基準で定める経験年数を有した方。選任しなくても、複数名でも可。

＊格付表示担当者―営業部門から実質的に独立した権限を有し、講習会を受講した方、複数名可。

＊補佐―認証の技術的基準で定める受託者のなかで、格付表示担当者を補佐するもの。JONA指定のテストを修了したもの。

**5．受入保管施設について**

**受入保管施設について**

受入/保管作業を行う施設及び有機JASマークを貼付する施設、関連する施設（倉庫等）について、以下の表に記載して下さい。

※申請施設には、輸入品受入保管施設、出荷までの一時保管施設、格付表示（有機JASマーク貼付）を行う施設等が含まれます。

※施設の名称には、社名・工場又は倉庫名等を記載してください。

※作業内容には、保管、格付表示等、具体的に記載してください。

※一部委託/外注施設には、入庫前の保管倉庫、格付表示、格付表示後の製品保管倉庫等の施設が含まれます。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設の名称 | 作業内容 | 所在地 | 自社／委託の別 |
|  |  |  | 自社　委託 |
|  |  |  | 自社　委託 |
|  |  |  | 自社　委託 |
|  |  |  | 自社　委託 |
|  |  |  | 自社　委託 |
|  |  |  | 自社　委託 |

**→委託先がある場合、委託先を管理するための規程・マニュアル・記録・契約書・覚書・施設図面等を提出して下さい。**

**6．施設の衛生管理**

**(6-1) 申請施設（上記5の施設）の防虫防鼠の施工者について、下記表を作成して下さい。**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設（委託施設含む）の名称 | 防虫防鼠の施工者（複数選択可） |
| ① | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ② | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ③ | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ④ | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |
| ⑤ | 施設管理者防除の専門業者と契約（契約先：     　　　　　　　） |

**(6-2) 申請施設（上記5の施設）における薬剤を用いない防虫防鼠の取組みについて、下記表を作成して下さい。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施施設名  （又は6-1の施設番号） | 方法 | 機材や製品名 |
|  | 日常の清掃・光・熱・音・電撃の利用・陽圧化 |  |
|  | 物理的トラップ（粘着シート等） | ※誘引剤を使用する場合は誘引剤の内容がわかる資料を提出して下さい。誘引剤の使用がない場合は下に誘引剤無しと記入して下さい。 |
|  | 殺虫剤成分を含まない界面活性剤など | ※殺虫剤成分を含む製品は**(6-3)** 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。 |
|  | その他（　     ） |  |

※粘着トラップ等に使用する誘引剤は、食品または食品添加物グレードのもので殺虫・殺鼠成分が含まれないものが使用可能です。殺虫・殺鼠成分を含むものは下の(6-3) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

※ハーブ由来等の忌避剤は下の(6-3) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

※モニタリング等で使用するフォロモントラップや一緒に使用する誘引成分は下の(6-3) 「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請して下さい。

**(6-3) 防虫防鼠薬剤一覧**

**申請施設（上記の施設）において防虫防鼠のために薬剤を使用する場合、薬剤のリストを作成して下さい。**

　①申請施設（上記5の施設）で使用する可能性のある防除薬剤はない。　　

　②申請施設（上記5の施設）で使用する可能性のある防除薬剤がある。　　

　➡別紙「有害動植物防除用薬剤 申請書」を作成し、提出して下さい。

**(6-4) 申請施設（上記5の施設）における洗剤・殺菌剤（以下、洗剤等）に関する情報について、該当するものを選択してください。その他を選択した場合は内容を記載して下さい。複数チェック可。**

＊施設の衛生管理に使用する各種洗剤や殺菌剤（次亜塩素酸系製剤、アルコール製剤など）が該当します。使用状況により、その資材の説明資料の提出や使用方法に関する追加報告を求める場合があります。

**●包装の機械器具については（9－4）で申告して頂きます。この項は施設全体の衛生管理についてです。**

**【洗剤等の使用用途について】**

床面の洗浄殺菌のための洗剤等を使用している。

手指の洗浄殺菌のための洗剤等を使用している。

その他

**【洗剤等の管理について】**

使用する洗剤等のリストを作成している。

使用する洗剤等の管理責任者を配置し、把握している。

洗剤等使用時の手順書を策定している。

その他

**（6-5）施設の衛生管理のために、オゾン殺菌を行っていますか？**

①オゾン殺菌を行っていない。

②オゾン殺菌を行っている。

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 |  |
| 使用施設・場所 |  |
| 食品への汚染対策方法又は対策が定められた文書名 |  |

　　　　※文書名を記入した場合は、当該文書を提出して下さい。

**7．輸入品の受入れ保管方法**

**申請品目の輸入形態及び外国における認証状況について以下の表に記載して下さい。**

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  （品名） | 輸入品の包装形態  （紙袋・箱、アルミパック、フレコン、バルク等具体的に記載） | 申請品目を製造又は生産している  事業者名とその国名 | | 左欄の事業者を  認証している  団体・機関名 | 同等国の事業者に格付表示の委託の有無 | 有機／転換中有機の別 |
|  |  | 事業者名 |  |  | 有り　無し | 有機  有機転換期間中 |
| 国名 |  |
|  |  | 事業者名 |  |  | 有り　無し | 有機  有機転換期間中 |
| 国名 |  |
|  |  | 事業者名 |  |  | 有り　無し | 有機  有機転換期間中 |
| 国名 |  |
|  |  | 事業者名 |  |  | 有り　無し | 有機  有機転換期間中 |
| 国名 |  |
|  |  | 事業者名 |  |  | 有り　無し | 有機  有機転換期間中 |
| 国名 |  |
|  |  | 事業者名 |  |  | 有り　無し | 有機  有機転換期間中 |
| 国名 |  |
| 国名 |  |

**8．受入保管に関する管理記録の保持**

**輸入品の受入保管業務に関する記録及び当該記録の根拠となる書類名称および管理方法について、以下の表に記載して下さい。**

※施設の受入記録、入出庫記録、施設の衛生管理に関する記録、輸入に関する書類（インボイス、パッキングリスト、B/L等）、政府機関が発行する証明書は必須です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 記録名称 | 保持者／作成者 | 記録保持期間 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |
| 8 |  |  |  |
| 9 |  |  |  |
| 10 |  |  |  |
| 11 |  |  |  |
| 12 |  |  |  |
| 13 |  |  |  |
| 14 |  |  |  |
| 15 |  |  |  |
| 16 |  |  |  |
| 17 |  |  |  |
| 18 |  |  |  |
| 19 |  |  |  |
| 20 |  |  |  |
| 21 |  |  |  |
| 22 |  |  |  |
| 23 |  |  |  |
| 24 |  |  |  |
| 25 |  |  |  |

**9．格付表示の実施**

* 1. **格付表示規程の最終更新日**

|  |  |
| --- | --- |
| 更新日 |  |

* 1. **格付表示の実施場所、頻度、担当者数について、以下の表に記載して下さい。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 格付表示を行う施設の名称 | 格付表示を行う施設の住所 | 格付表示の頻度  (1週間／1ヶ月当り) | 格付表示担当者人数 | 格付表示担当者の  勤務形態 |
|  |  |  | 人 |  |
|  |  |  | 人 |  |
|  |  |  | 人 |  |
|  |  |  | 人 |  |
|  |  |  | 人 |  |

＊「格付表示を行う施設名称」欄には、格付表示を実施する倉庫等の名称を記入すること。

＊「格付表示の頻度」の欄には、1週間または1ヶ月あたりの格付頻度を、ほぼ毎日、週間に3～4回程度、1週間に1～2回、1ヶ月に数回程度等と記入すること。

＊「格付表示担当者の勤務形態」欄には、格付表示担当者の一週間当りの勤務日数および社員／契約の別を記入すること。

＊有機JAS制度と同等の国、地域の認証事業者に格付表示を行わせる場合も記載してください。その際、「格付表示担当者」は「格付表示担当者を補佐する者」と読み換えてください。

**(9-3)　 有機JASマークの貼付場所について、該当するものを選択してください。**

※この項目は、有機JAS認証申請者のみ記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 本申告書(1-1)の品目又は商品名  （一枠にまとめて記載OK） | 有機JAS格付表示（有機JASマーク貼付）はどこに表示しますか？  （複数選択可） |
|  | 個別商品（製品容器・小袋など）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |
|  | 個別商品（製品容器・小袋など）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |
|  | 個別商品（製品容器・小袋など）  納品書／送り状  輸送用の容器（段ボール等）  その他（　　　　　） |

※輸入業者として同等性を利用して格付表示した製品については、外国格付表示の対象外となります。

他者から購入した有機JAS品などに対して、外国格付表示を行う場合は、外国格付表示業者の認証が必要です。様式　8-6 (他の有機JAS認証と同時に申請する者用)外国格付表示業者の申請書にて申請して下さい。

**(9-4) 包装で使用する機械・器具の洗浄**

①包装は行っていない。

②包装を行っている。

※下表に書ききれない場合は、行を増やすか、別紙にて提出して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機械・器具の名称 | 有機専用／慣行との  共用の別 | 使用目的 | 洗浄・清掃方法  （複数選択可） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |
|  | 有機　共用 |  | 水洗浄　　洗剤洗浄　（手作業）  エアダスター　　吸引　　ホウキ・ブラシ  共洗い（押出し）**【**   　　　　**㎏】**  ふき掃除　→エタノール使用有  その他（     　） |

※上記項目を満たしていれば、自社書式の一覧でも構いません。

　※機械器具名に使用施設名を記入して下さい。

　※共洗い（押出し）の場合、押し出し量を決定した根拠を示して下さい。

　 ※有機品が直接触れるライン等の掃除や消毒にエタノール製剤を使用する場合、揮発又はふき取り後に有機品の取り扱いが可能です。使用するエタノール製剤は食品（添加物）グレードのものが使用可能です。別紙「有害動植物防除用薬剤 申請書」で申請をしてください。

　　※洗剤は使用可能です（ただし残留しないよう水で洗い流す必要があります）。洗剤の資料は提出する必要はありません。

●通信事項

**■新規申請者は別紙様式10-4 宣誓事項及び必須添付書類リストも提出して下さい。**

**有機食品の輸入に取り組んだきっかけ・理由をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**過去3年間に他の認証機関に有機認証の申請をした場合、認証機関名、申請時期、審査の結果をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**上記の審査結果が、不適合/否決の場合、認証機関から発行された不適合/否決についての通知文書を添付してください。更に、不適合事項への申請者の改善内容を説明し、その根拠書類を添付してください。**

|  |
| --- |
|  |

**日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会　理事長宛**

**以上の申告内容に虚偽はありません。**

|  |  |
| --- | --- |
| 受入保管責任者　氏名: |  |
| 格付表示担当者　氏名: |  |
| 記入者　氏名: |  |